

# 会員企業ら50団体表彰

## 全建が建設業の社会貢献で

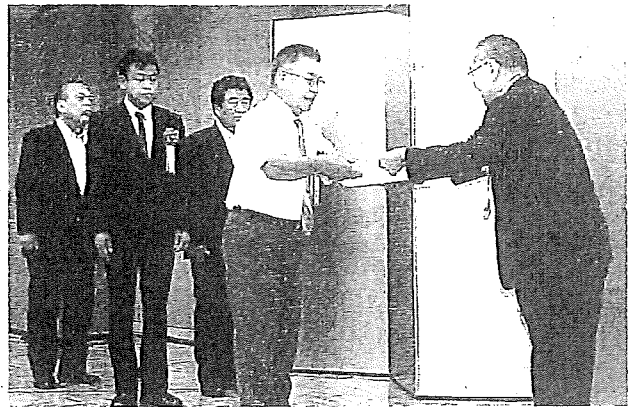
全国建設業協会(全建)と浅沼健一会長は28日、「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」を開き、災害復旧や環境美化など、さまざまな社会貢献活動を行っている建設業協会と支部、会員企業など計50団体表彰した。浅沼会長は開会のあいさつの中で、「東日本大震災の復興に向けた取り組みは、全国の会員企業

がそれぞれの特徴を生かしながら一致団結し、社会から感謝される良い機会になる。そのためにも、日ごろから企業の社会的責任に真摯(しんしん)に取り組むことが重要」と述べ、会員企業に対し、さまざまな社会貢献活動に引き続き尽力するよう求めた。

中央行事では、受賞した各団体・企業に、浅沼

会長が表彰状と記念品を手渡した。その後、受賞

者を代表して、宮城建設(宮城県)が「地域住民参加型の防災訓練活動」の一助、東城建設(富山県)



社会貢献活動推進月間中央行事の表彰

魚津市)が「学校じオト1づくりへの取り組み」の事例発表を行った。宮城建設工業は、2003年の十勝沖地震を契機に、地域の住民や学校に参加を呼び掛けて防災訓練を毎年実施している。河川・建物のパトロールのほか、土の積み

や消火訓練、応急措置の実演、土の作成体験などを、地元の警察署や消防署の協力を得て行っている。昨年の訓練では約1200人が参加したという。

- ▽災害復旧支援活動II
- 茅沼建設工業(泊村)
- ▽防災支援活動II宮城建設工業(帯広市)
- ▽環境美化活動II瀬越組(天塩町)
- ▽建設業ふれあい活動II菅野作工(江別市)
- ▽社会福祉活動II開発工建(岩見沢市)、萩原建設工業(帯広市)